

入院患者様の食べ物を嚙んだり・飲み込んだりする機能を訓練して患者様が食べる喜びを取り戻すお手伝いをしています。

食べるということは、毎日、誰でもごく当たり前のように行っています。私たちの心と体が満たされ、生きている実感を味わえる時間でもあります。口から食べるということは、単に栄養をとるだけでなく、脳を刺激し、味わう喜びを思い出し回復への意欲を高めます。

病気になり、食べ物が摂取できなくなると栄養が低下するだけでなく、日常生活は大きく変化します。また誤嚥性肺炎などを引き起こし、生命の危機にもつながる恐れがあります。点滴や経管栄養の医療が進み、口から食べなくても栄養がとれる時代になりました。そこで食べる事が出来なくなってしまった方々の持てる力を見直し、安全な方法で、再び口から食べられるように一緒に訓練をする事が、私の活動です。他職種とともに、患者様に食べる喜びと笑顔が提供できるように、日々看護させていただいています。

